

やつげり

世の中なんやなあ

「末摘花」の巻より

もののあはれ
源流の旅

言靈の国日本——「ことば」はその

土地の独特的気候風土が育んだ

感性によつて紡がれたものです。

複雑で微妙に移ろいゆく京都の自然

は当然そこに住む人々の心に影響

しました。

平安の時代、物語はもともと読むものではなく聴くもので、語りの担い手は高位の女官「女房」でした。千年の昔京都で生まれた源氏物語を「今女房」が京ことばで語ることにより、気候風土のもたらす発想の息吹そのものが「音」となつて響いては消えるその中に、源氏物語の底に流れる「もののあはれを」くみ取つていただけることを願います。

女房語り 山下智子

『京ことば語る源氏物語』

宗教学者 山折哲雄先生

「ことば」
7月



『源氏物語』五十四帖を「京ことば」で語る山下智子さんが、これまで誰もやらなかつたこの大仕事を始めてから、もう十年になります。NHKドラマや芝居でキャラリアを積まれた山下さんは、この京都の地を舞台に、現代に甦るまれな女房語りとして新たな挑戦をはじめることになりました。

『源氏物語』のはんとうの魅力を、美しい京ことばのリズムにのせて、人々の耳に、そしてそのこころにとどけようというのです。谷崎潤一郎や与謝野晶子の現代訳ではとても経験することのできないなかつた『源氏物語』の奥座敷の光景を、ここにゆくまで味わつていただこうというわけであります。

山下智子さんの、この大胆で健気な試みを応援して、ここに推薦の辞をのべる次第であります。

山下智子さんの、この大胆で健気な試みを応援して、ここに推薦の辞をのべる次第であります。

六帖 【末摘花】

あらすじ



第七回

六帖 末摘花

◎女房語り 山下智子

六帖
【末摘花】

夕顔の儂い死を忘れられない源氏は、大輔の命婦から、亡き常陸宮の姫

君が琴を唯一の友に寂しく暮らしているといふ噂を耳にする。

朧の月夜、姫をこつそり訪ねる源氏の後をつける頭中将。二人は姫の弾く琴の音に耳を澄ます。秋、容易になびかない姫とやつと契りを交わした源氏だが、その恥ずかしがるばかりの世間離れた様子に落胆し、足が遠のいていく。

雪の宵の頃、ようやく姫を訪ねた源氏は、古女房達の寒さに震える零落した暮らし振りと、翌朝雪明かりに見た姫のあまりの醜貌に驚くが、かえつて姫に対する憐憫の情がつのり、後見することを心に決める。年の暮れ、姫から贈られた古びた衣裳に源氏は呆れる。

正月七日の夜常陸宮邸を訪れ、源氏が贈つた新しい衣裳のお陰で多少女性から贈られた古びた衣裳に源氏は呆れる。

女房語り 山下智子

二〇一〇年七月二十五日(土)
【開演】午後一時(開場午後一時三〇分)

【場所】大阪市立西区民センター
大阪市西区北堀四一—一七

電話 06-6531-1400 FAX 06-6531-1402

料金 一〇〇〇円(要予約・前売り券) 当日券 五〇〇円
(定員80名)

司会 ○岩崎靖子
音響・効果 ○梅田芳雄・中村順七・吉田淳三郎
スチージ運営 ○瀧田みどり・石田有邦

訳 ○中井和子 作曲 ○嶋村よし江
運営統括 ○瀧川敦久

主催 ○大阪市立西区民センター
協力 ○西区体育厚生協会 文化企画部

※本公演は多くの交通機関連行に支障をきたす大災・災害があった際、中止となる可能性があります。予めご了承ください。

【お申込み・お問い合わせ】
大阪市立西区民センター
1階窓口にご来館いただき、
電話 06-6531-1400にて、

京ことば源氏物語・西区語りの会へご質問ください。
FAXでのお申込みは、06-6531-1402まで、お名前(ふりがな)、ご年齢、郵便番号、ご住所、お電話番号、緊急時連絡先電話番号、この催しをお知りになるきっかけとなつた媒体名をご記入の上、ご送付ください。お預り申し上げます。



山下智子プロフィール
京都市出身。仲代達矢主宰無名塾に学び、三島由紀夫近代能楽集「道成寺」「熊野」はじめ舞台、TVにて活動。2003年より声の表現中心に活動。NHKラジオドラマにレギュラー出演と作品提供。朗読劇、映像番組、文楽人形芝居での語り、電子書籍、大修館書店国文教科書CD等での朗誦

「京ことば源氏物語」の女房語りを通して、失われゆく美しい京ことば、やまととの心を後世に伝えるべく各地で語り会をひらく国内のみならず海外でも好評を博している。
京都観光おもてなし大使 <http://www.genji-kyokotoba.jp>
国文学者・中井和子先生について
氏は生粋の京女、府立大学で中古文学の教鞭を執りながら十五年の歳月をかけて源氏物語全四十帖を今から百年程前の京ことばに全文訳されました。失われゆく美しい京ことばや感性を後世に残すために源氏物語ほど相応しいものはなかったと、一人の京都人として語りに思っています。2009年1月永眠。

もののあはれ源流の旅 全五十四帖連続語り